

## オンデマンド授業運営

これまで本学におけるオンデマンド授業は、早稲田大学が中心となって進められている「オンデマンド授業流通フォーラム（以下「フォーラム」という）」の中で、インターネット上で開講されるオンデマンド授業を相互に受講し、大学間の交流を図ることを目的として運営されてきた。

本学は、2003年度末のフォーラム設立当初から参画し、2004年度から2007年度まで毎年度1科目計4科目のオンデマンド授業を制作した。これは、本学の教育実績の一つとして挙げるができる。しかし、費用対効果を考慮したうえでオンデマンド授業を有効に機能させるには、相当程度の科目展開、インフラおよび支援体制の整備、ノウハウの蓄積などが前提となることから、多くの大学では、いまだ試行錯誤の段階に留まっており、同フォーラムの設立目的でもあるオンデマンド授業を通じた大学間での相互交流は、十分には拡がりを見せていない状況が続いていた。

本学でも、2008年度に横浜創英短期大学、2009年度には江戸川大学との交流を中止したが、2009年8月、これまで相互交流を続けてきた早稲田大学からも、財政的な理由のため、2010年度より相互交流を中止したいとの申し入れがなされた。

このように、オンデマンド授業における状況が大きく変化しており、本学としては今後、大学間の交流を図ることを主な目的としたフォーラムの枠組みを離れ、これまで蓄積したノウハウを活かし、独時に展開していく必要がでてきたため、2010年度のオンデマンド授業運営については下記の通り実施された。

### 1. 基本的な考え方

- 1) 早稲田大学との相互受信・配信中止により、フォーラムの中では他大学との交流がなくなったため、その枠組みを離れ、本学独自に展開。
- 2) これまで本学にて作成した4科目に加え、2009年度に社会情報教育研究センター設置準備室の事業として作成された4科目をオンデマンド授業として開講し、計8科目を全カリ総合科目として設置。  
なお、新規作成された4科目の原資は、「教育研究高度化のための支援体制整備事業（補助金）」より支出された。
- 3) 上記8科目は立教大学のみ配信。

### 2. 2010年度前期の履修状況（単位：人）

科目名	定員	申請者	履修者	制作年度
青年期の自我と恋愛	100	387	100	2004年度
聖書考古学入門	100	206	100	2007年度
社会調査入門	200	187	187	2009年度
データ分析入門	200	144	144	2009年度

3. 2010年度後期の履修状況（単位：人）

科目名	定員	申請者	履修者	制作年度
平和と安全保障	100	215	100	2005年度
茶・虎そして人	100	192	100	2006年度
社会調査の技法	200	191	191	2009年度
データの科学	200	115	115	2009年度

4. オンデマンド授業配信システムについて

既存4科目は、これまで同様早稲田大学の Course N@vi を利用し、新規4科目については、株式会社早稲田総研インターナショナルが運営する QuonJuku を利用した。

5. 授業コンテンツ制作状況

2010年度は2011年度に展開する予定のオンデマンド授業開講科目として「多変量解析入門」のコンテンツを制作した。

6. 筆記試験の実施について

「社会調査入門」、「データ分析入門」、「社会調査の技法」、「データの科学」については、成績評価方法・基準に筆記試験が含まれるが、その実施に当たっては、池袋・新座の両キャンパスで同一日・同一時間・同一問題で行うこととし、履修者は各所属キャンパスで受験するという措置とした。また、受講会場を間違えた場合等については、同一科目・同一担当者科目のルールを準用することとした。